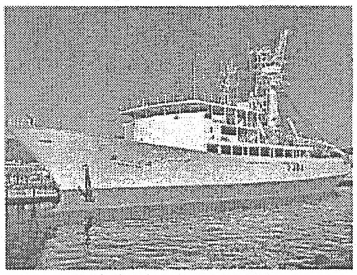
水産物の自前調達

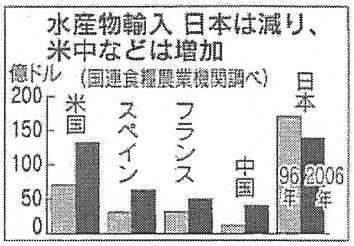
マルハ



今月操業した大型船は太平洋でカツオなどを捕る

トエン（東京・中央）カ
27億円を投じて建造した大型巻き網船が、このほど操業を始めた。積載量は約1200トンと既存の巻き網船の1・5倍。南太平洋でカツオやマグロを捕り、年に数回、日本

同社は約年、9年ぶり
となる巻き網船を就航させた。積載量は約600トンで、三陸沖でカツオやサバを捕っている。グループで保有する船は約50隻。うち漁獲能力が高い巻き網船は2隻を加えて



て、10年度の漁獲量を7万2000トンへ増やす。
マルハニチロは調達量の約9割が海外の漁業者などからの買い付け。水産物全体の9割を国内で販売し、残る1割が中国やタイなどアジア、欧米に輸出している。
06年の世界の水産物輸入総額は860億ドルと1996年に比べて6割増えた。景気低迷の影響で足元の世界需要は低迷しているが、新興国の成長と健康志向の高まりを受けて、再び拡大する見込み。国内は消費不振で水

産物の輸入を拡大する

松坂屋名古屋駅店 Jフロント 閉鎖を発表

J・フロントリテイリングは25日、傘下の松坂屋が運営する名古屋駅店（名古屋市）を8月29日に閉鎖すると正式発表した。同店が入るビルは再開発で取り壊すが、ビルを所有する東海旅客鉄道（JR東海）と入居面積など条件面で折り合えず、2016年度の建て替え後の再出店を見送る。

東京のホテル 稼働率9ポイント上昇 1月68%に

東京の主要ホテルの1月の平均客室稼働率は68・7%だった。前年同月を9・0ポイント上回り、リーマンショック前の2008年1月の水準（66・3%）まで回復した。ネット販売する個人客向けプラン

が好調だったほか、アジア客も増加。ただ採算ラインといわれる70%に届かず、客室単価の下落も続いており、経営環境は厳しい。
日本経済新聞社が東京19、大阪18の主要ホテルの稼働率をまとめた。
大阪の1月稼働率は68・0%と0・5ポイント低下した。

われた。「ファッションの伊勢丹」のイメージを確立した故人をしのび、百貨店やアパレル関係者約300人が参列。祭壇に献花し、別れを惜しんだ。

■東急不動産　傘下の不動産運用会社を通じ、東京駅に隣接する大型複合ビル「パシフィックセンチュリープレイス丸の内（PCP）」（東京・千代田）の

イズミヤ

全店の6割改装

専門店誘致で立て直し

関西地盤のスーパー、イズミヤは3月から全88店の約6割に当たる50店強を順次、改装する。低価格の衣料品専門店などを誘致するほか、不採算の約40店は売り場を削減する。3年程度かけて実施し、2011年2月期には投資額95億円の大半を充てる。自前で衣食住の商品をそろえてきた総合スーパーの業態を見直し、収益力を立て直す。
これほど大規模な改装はイズミヤでは初めて。伊藤忠商事グループとも協力し、テナントの誘致や狭い商圏でも生き残る

専門店やドラッグストアも誘致する。売り場を縮小する店舗は不振の衣料品などの扱いを減らし、賃借料も削減して収支改善を進める。同社は10年2月期に最終損益が53億円の赤字に転落する見通し。

ヤマダ電機 中国・天津に出店

家電量販店最大手のヤマダ電機は25日、中国・天津市に出店する意向を明らかにした。8月にも、市中心部の商業施設にテナント出店する。売り場面積は3万平方メートル前後を計画しており、ヤマダの国内店舗で最も大きい2万3000平方メートルを上回

地域密着型の店舗開発を急ぐ。
不振店は家具の低価格

を予定している。中国を中心にアジアでの店舗網構築に乗り出す。
日本の都市型店舗「LABI」をモデルにした店舗にする。ポイントカードなどの仕組みもそのまま持ち込む意向だ。
ヤマダは国内では連結ベースの直営だけで約5

も来春をメドに瀋陽に出店する計画があるほか、複数の進出先を検討しているが、天津が中国1号店となりそうだ。

買い物ポイント 来月から交換 ビックとソフマップ

メラと同社子会社のソフマップは25日、顧客の購入額に応じて与えるポイントを3月1日から相互に交換できるようにすると発表した。両社の全店

外食売上高 1月1.8%増

日本フードサービス協会が25日発表した1月の外食売上高（全店ベース）

赤字に転落する見通し。
同日会見した桑原氏は「11年2月期に黒字化させる」と語った。
丸紅に次ぐ大株主であるイオン出身の川戸義晴

オフィスの明かり、自分好みに

「知的照明」を実験

三菱地所など 電力消費半減

三菱地所と森ビルは25日、オフィスの照明の照度や色味を利用者の好み通りに個別設定できる「知的照明システム」の実証実験を始めたと発表した。技術は同志社大学が開発中で、室内全体を均一の照度にしている従来のオフィスに比べ電力消費量をほぼ半減できるという。費用対効果などを検証し、3年後の実用化を目指す。
三菱地所と森ビルがそれぞ

れ東京都内に保有するオフィスビルの一部に、専用機材を設置する。2カ所で計70人程度が働いており、来年3月までデータ収集などで同志社大の研究を支援する。
発光ダイオード照明や蛍光灯にMPU（超小型演算処理装置）を搭載。オフィスの利用者が照度センサーとパソコンで設定した好みの照度の情報を集約し、全体の照明を最適化する。
実用化時点で照明機器の価格は従来の2割増し程度になる見込みという。

新社長

◇三井住友建設
則久　芳行氏（のりひさ・よしゆき）69年（昭44年）神戸大工卒、住友建設（現三井住友建設）入社。07年三井住友建設副社長。香川県出身。63歳（4月1日就任。五十嵐久也社長は取締役相談役に）

◇トーメンエレクトロニクス
礒野　央幸氏（いその・ひろゆき）77年（昭52年）慶大商卒、豊田通商入社。09年トーメンエレクトロニクス常務。岐阜県出身。56歳（4月1日就任。真下敏男社長は代表権のない取締役に）

◇日立メディコ
三木　一克氏（みき・かずよし）73年（昭48年）京大院修了、日立製作所入社。08年日立メディコ専務。兵庫県出身。61歳（4月1日就任。浜松潔社長は代表執行役会長に）

◇三井ハイテック
三井　康誠氏（みつい・やすなり）93年（平5年）東大院修了、三井ハイテック入社。06年副社長。41歳（4月21日就任。坂上隆紀社長は取締役相談役に）

◇デンヨー
吉賀　繁氏（こが・しげる）71年（昭46年）慶大

借入金が重荷となった。